



Hirata

# Investors' Guide 2025

インベスターズガイド2025

**Hirata** は

「さまざまな産業分野の生産設備をつくるメーカー」です



## Introduction

- P.04 財務ハイライト
- P.05 配当金推移・株主優待制度
- P.06 沿革
- P.07 グローバルネットワーク

## 事業概況

- P.08 事業概要・事業別売上構成比
- P.09 自動車関連事業
- P.12 半導体関連事業
- P.15 その他自動省力機器事業

## 競争優位性

- P.16 Hirataの競争優位性

## 中期経営計画

- P.17 新中期経営計画（2025-2027年度）

## サステナビリティ

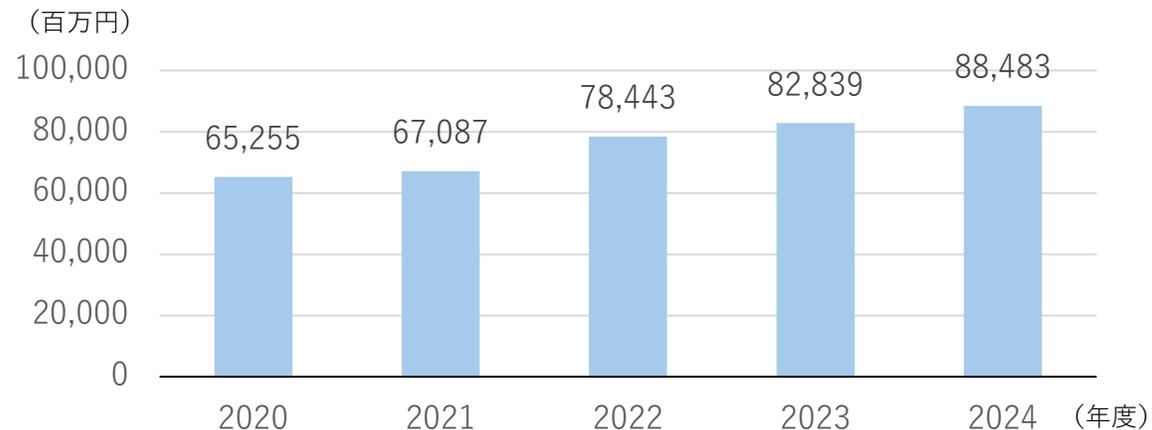
- P.19 サステナビリティ基本方針
- P.20 マテリアリティ
- P.21 TOPICS：地域貢献活動
- P.22 TOPICS：FLAGNOID清正

## データ集

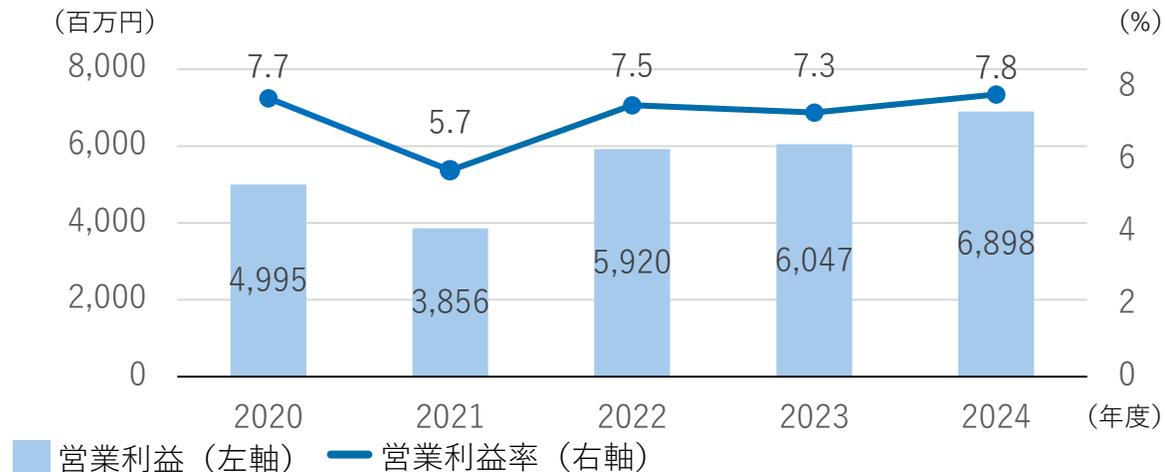
- P.23 会社情報・株式の状況
- P.24 情報開示体系

# 財務ハイライト

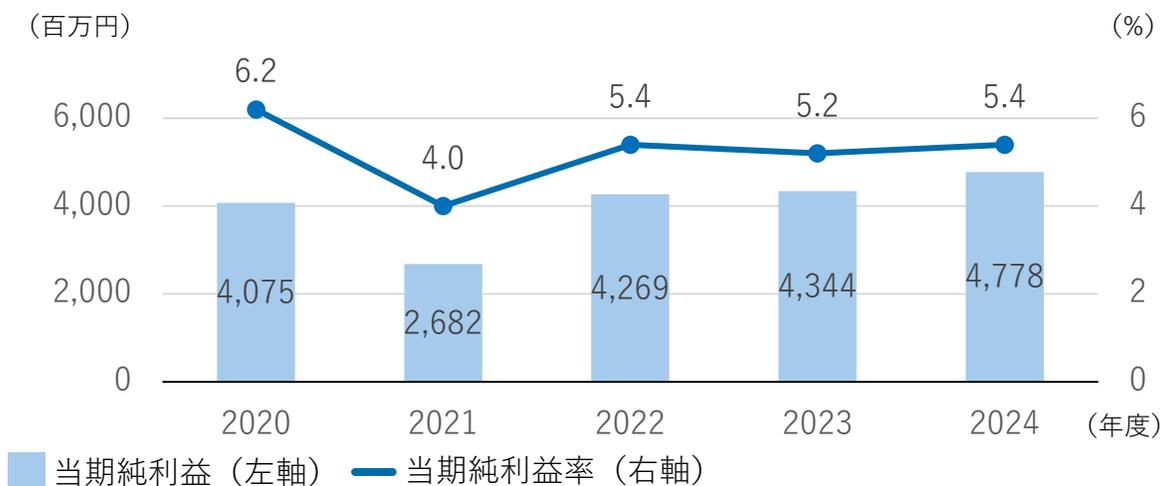
## 連結売上高



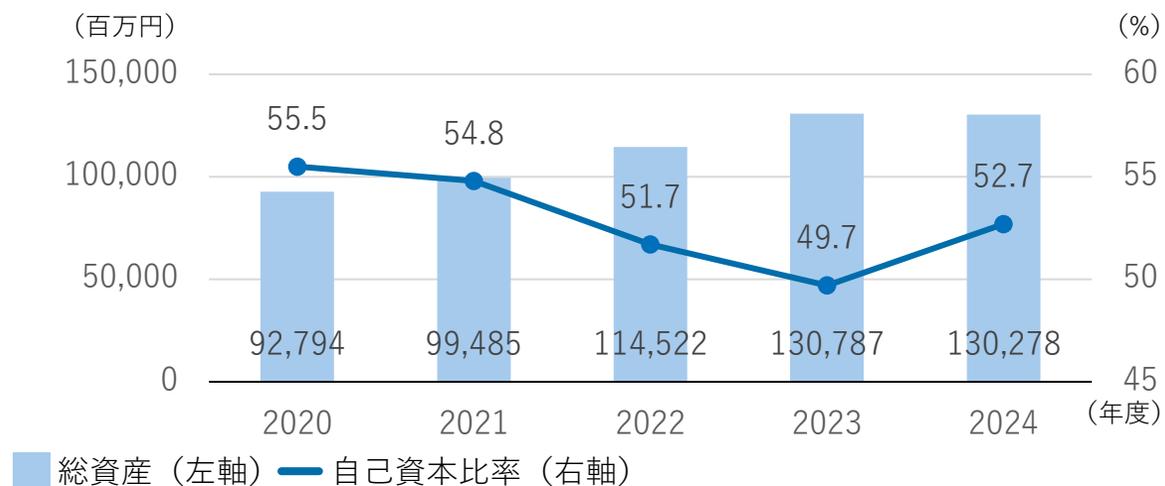
## 営業利益・営業利益率



## 当期純利益・当期純利益率



## 総資産・自己資本比率

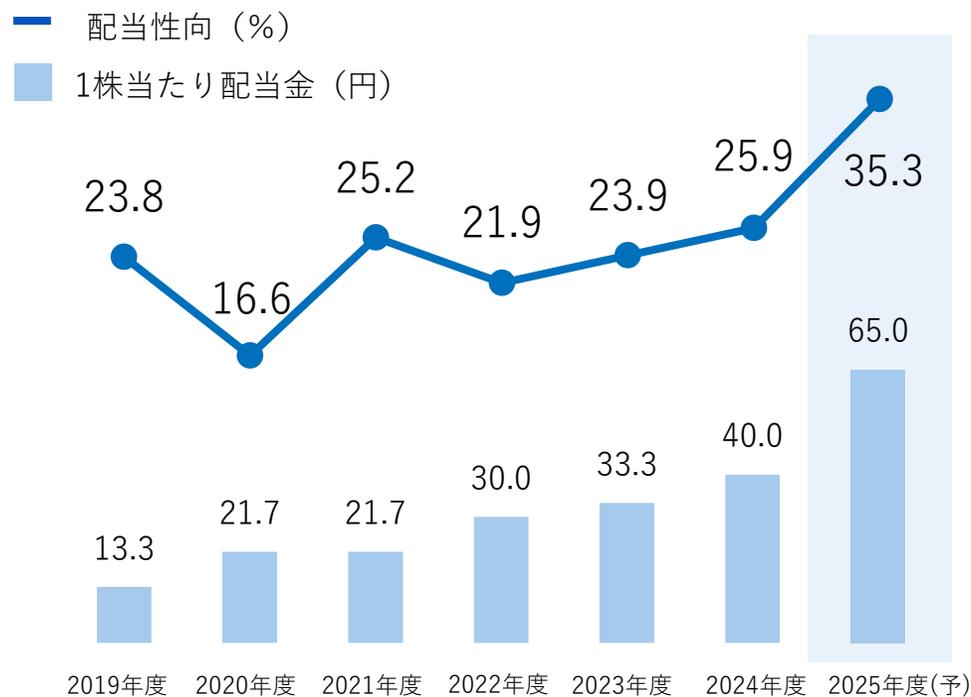


# 配当金推移 / 株主優待制度

## 配当金推移

当社では、株主の皆さまに対する利益還元を経営上の最重要課題のひとつと考えております。

今年度より、連結配当性向の目安を35%に引き上げました。



※1株当たり配当金は2025年4月1日を効力発生日とする株式分割（3分割）の影響を考慮した金額を記載しています。

## 株主優待制度

当社株式への投資魅力を高め、長期的に保有していただくことを目的に2016年度より株主優待制度を導入しています。

今年度より、株主優待制度を以下のとおり変更いたしました。

株主の皆さまには保有株数に応じて優待を進呈いたします。

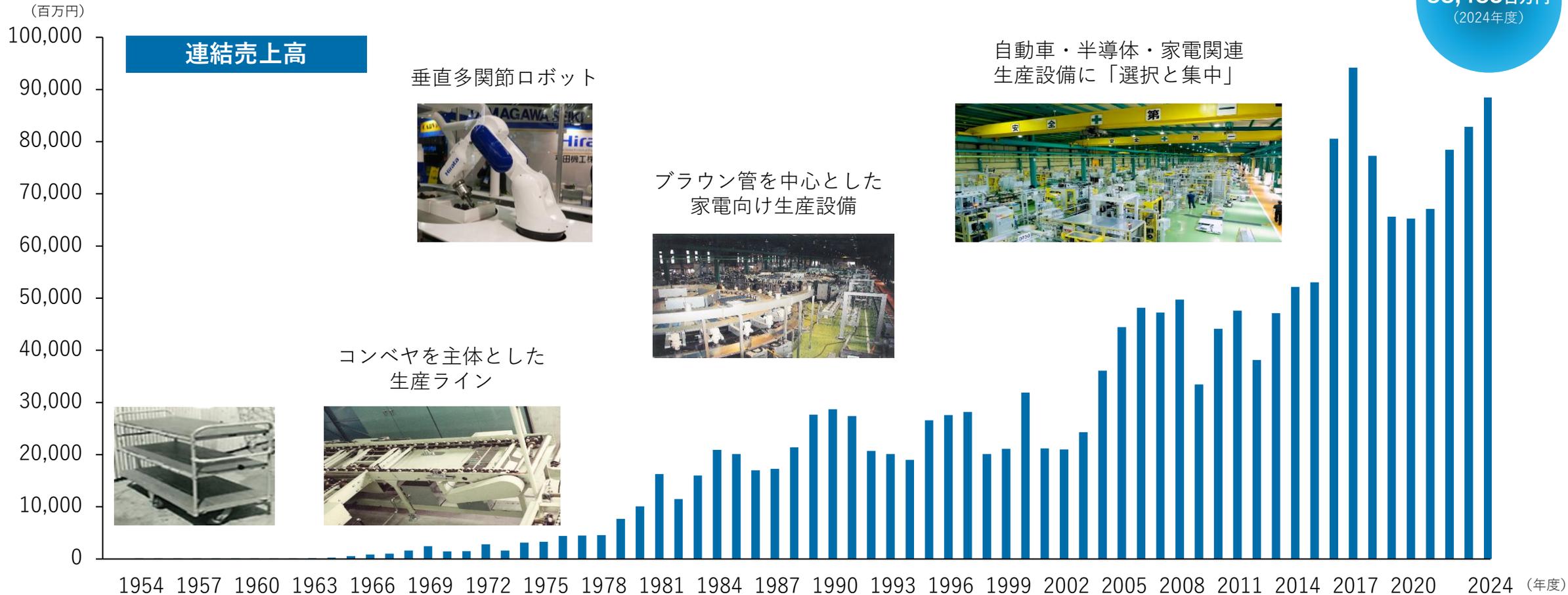
- |                |               |
|----------------|---------------|
| ① 100株以上200株未満 | 1,000円分のクオカード |
| ② 200株以上300株未満 | 2,000円分のクオカード |
| ③ 300株以上       | 3,000円分のクオカード |

※対象となるのは、毎年3月31日現在の当社株主名簿に記録された当社株式1単元（100株）以上を保有する株主さまとなります。

# 沿革

Hirataは1951年に創立しました。手押し車やコンベヤの製造に始まり、「付加価値の低い仕事は機械にまかせ、人はより付加価値の高い仕事をする」という考えのもと、今では自動車・半導体などさまざまな産業で製造を自動化する生産設備を手掛けるようになりました。Hirataがつくる生産設備は、世界中の工場でものづくりを支えています。

**88,483**百万円  
(2024年度)

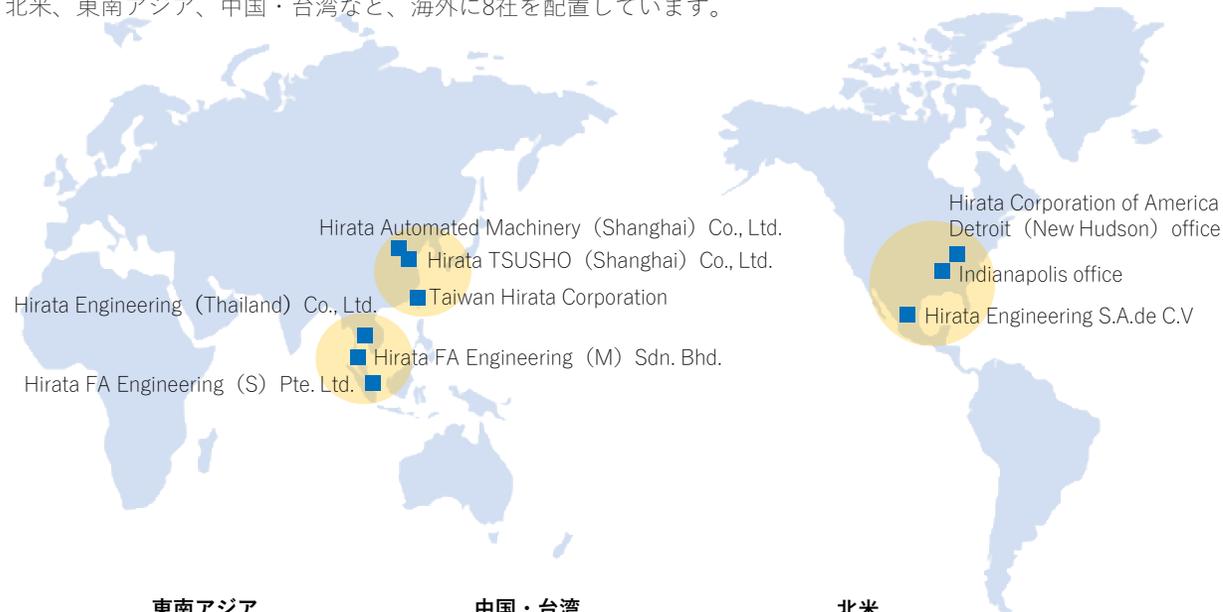


# グローバルネットワーク

Hirataは創立の地である熊本から、世界のものづくりを支えています。

## 海外関係会社

北米、東南アジア、中国・台湾など、海外に8社を配置しています。



### 東南アジア

Hirata FA Engineering (S) Pte. Ltd. (シンガポール)  
設立：1991年  
<https://www.hirata.com.sg>

Hirata Engineering (Thailand) Co., Ltd. (タイ)  
設立：2004年  
<https://www.smri.asia/jp/hirata/>

Hirata FA Engineering (M) Sdn. Bhd. (マレーシア)  
設立：2012年

### 中国・台湾

Hirata Automated Machinery (Shanghai) Co., Ltd. (中国)  
設立：2006年  
<https://www.hirata-cn.com>

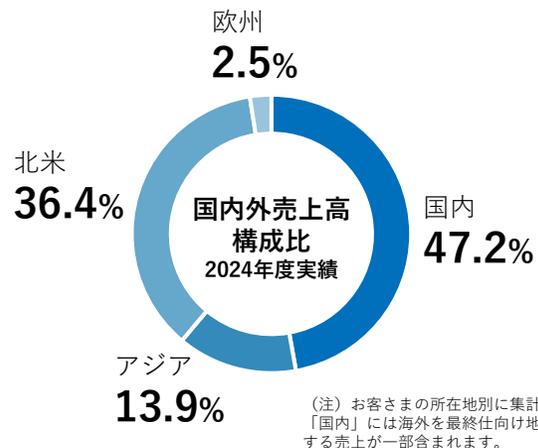
Hirata TSUSHO (Shanghai) Co., Ltd. (中国)  
設立：1999年  
<http://www.hirata-hts.com>

Taiwan Hirata Corporation (台湾)  
設立：2006年  
<https://www.hirata.com.tw/>

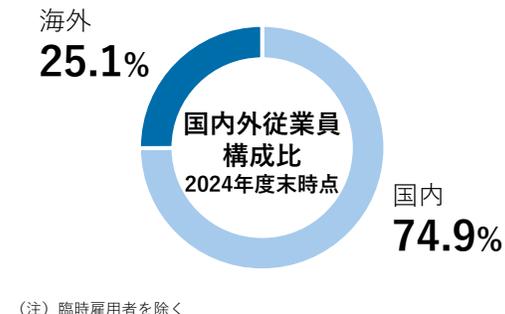
### 北米

Hirata Corporation of America (アメリカ)  
設立：1980年

Hirata Engineering S.A.de C.V (メキシコ)  
設立：2000年



連結従業員数 1,995名



## 国内事業所

熊本に本社を置き、熊本工場、熊本東工場、関東工場、関西工場、楠野工場、七城工場、東京オフィスのほか、関係会社を含めて10拠点を構えています。



### 平田機工

本社/熊本工場  
設置：1964年

### 楠野工場

設置：1984年

### 関東工場

設置：1968年

### 東京オフィス

設置：2016年

### 熊本東工場

設置：1988年

### 七城工場

設置：2008年

### 関西工場

設置：1981年

<https://www.hirata.co.jp/corporate/office>

### 国内関係会社

タイヘイテクノス株式会社  
設立：1980年

<https://www.taiheitechnos.co.jp>

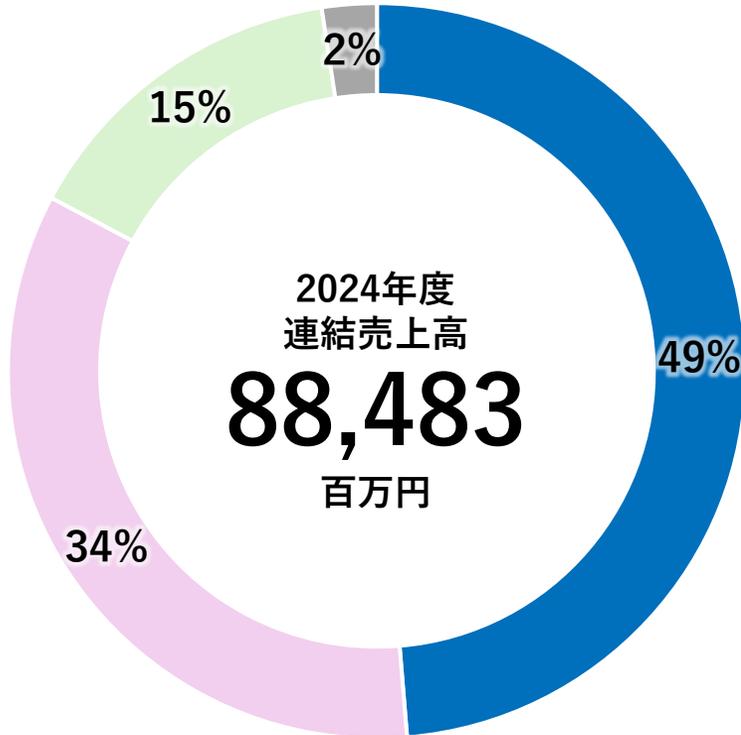
ヒラタフィールド  
エンジニアリング株式会社  
設立：1999年

<https://hirata-fe.com>

株式会社トリニティ  
設立：1986年

<https://www.3inc.jp>

# 事業概要・事業別売上構成比



## 自動車関連事業

EV（電気自動車）駆動機構やエンジンのほか、自動車に不可欠なコンポーネントの生産設備を製造

売上高

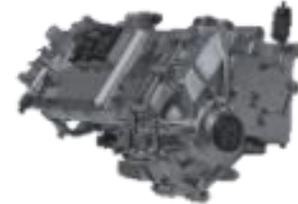
**430億59**百万円

営業利益

**41億94**百万円

営業利益率

**9.7%**



## その他自動省力機器事業

産業用ロボットや医療・理化学機器のほか、家電製品のキーコンポーネントなど多様な分野の生産システムを製造

売上高

**130億96**百万円

営業利益

**▲1億1**百万円

営業利益率

**▲0.8%**



## 半導体関連事業

半導体の材料となるウェーハの搬送装置等を製造

売上高

**301億86**百万円

営業利益

**28億57**百万円

営業利益率

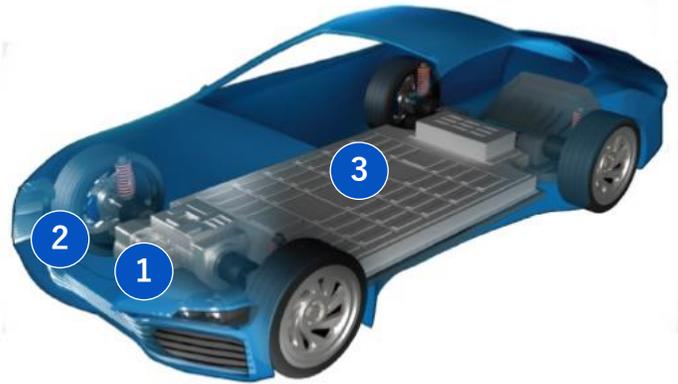
**9.5%**



# 自動車関連事業

- EV（電気自動車）関連、エンジン、トランスミッション、部品関連など、さまざまな生産設備を自社で一括して対応
- 北米自動車メーカー（“ビッグスリー”）や新興EVメーカー、国内自動車メーカーや車載用電子部品メーカー向けに販売実績多数

## EV関連の主要製品



### 主力分野

#### 1 EDU組立設備

- EDU (Electric Drive Unit) と呼ばれる車載用のモータとギアボックスを組み合わせた、EVの駆動用部品の組立設備

#### 主なお客さま

北米自動車メーカー  
（“ビッグスリー”）  
北米新興EVメーカー  
国内自動車メーカー



### 主力分野

#### 2 IGBT・インバーター組立設備

- IGBTやインバーターといった、EVやトランスミッション車に搭載される車載用電子部品の組立設備

#### 主なお客さま

国内車載用電子部品  
メーカー



### 拡大分野

#### 3 バッテリー充放電関連設備 （セル充放電工程）

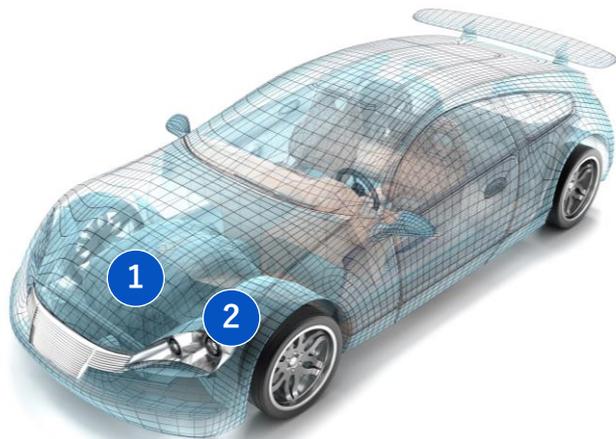
- バッテリーのセル工程の一部である充放電工程における搬送設備

#### 主なお客さま

国内バッテリー  
メーカー



## 内燃機関車関連の主要製品



### Point

#### 主力分野

### 1 エンジン関連組立設備

- ガソリンやディーゼル等のエンジンの組立を行う設備。パーツの数が非常に多いため、長いものでは総延長1kmを超える場合もある
- 直列やV型等多様な形式に対応しており、動作のテストまで当社の設備で対応可能

#### 主なお客さま

北米自動車メーカー  
("ビッグスリー")  
北米新興EVメーカー  
国内自動車メーカー

#### 主力分野

### 2 トランスミッション関連設備

- エンジンが生み出した力を車輪に伝えるトランスミッションの組立設備。CVTやAT等、さまざまな種類のトランスミッションに対応

#### 主なお客さま

北米自動車メーカー  
("ビッグスリー")  
北米新興EVメーカー  
国内自動車メーカー

### 大規模な設備を自社のみで手掛ける技術力

Hirataでは、お客さまの生産設備を自社工場内に構築し、生産能力や品質を検証した上でお客さまに納めています。一度作った生産設備を梱包可能な大きさまで解体し、輸送したのちに再度現地で作くり上げるといった膨大な工程が必要となりますが、それらを一貫して自社で行うことで、短納期で高品質な製品づくりを実現しています。

# 自動車関連事業

## 事業の状況

足元では欧米におけるEV普及の鈍化傾向が見られますが、長期的にはEV販売台数は増加を続けると予想されています。また当社はEVだけでなく、HV、PHV、内燃機関車それぞれの生産設備を手掛けてきた実績があり、日々変化する需要にも柔軟に対応することができます。

今後はそれらの需要を確実に取り込むとともに、エンジニアリング中心のビジネス展開や資本効率の改善により、さらなる収益性の強化を図ってまいります。

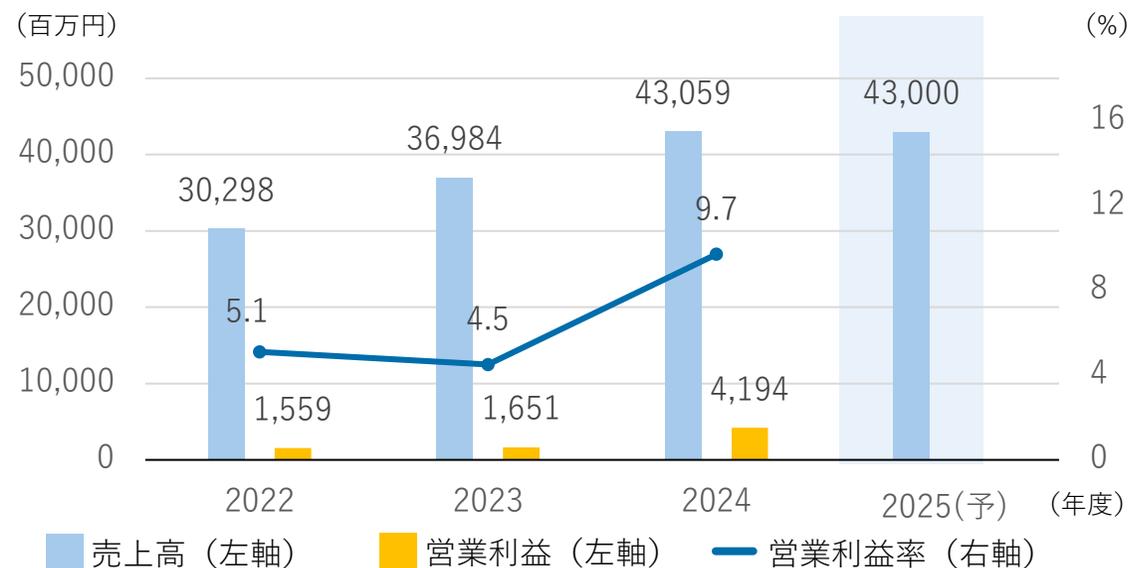
## 自動車関連事業のTOPICS

### バッテリー充放電関連設備 2022年度からの累計受注額 150億円超\*

2022年度より、バッテリー充放電関連設備の本格的な受注を開始いたしました。大規模案件への対応力や過去の納入実績などが評価され、継続した受注を獲得し、これまでの累計額は150億円を超えています。

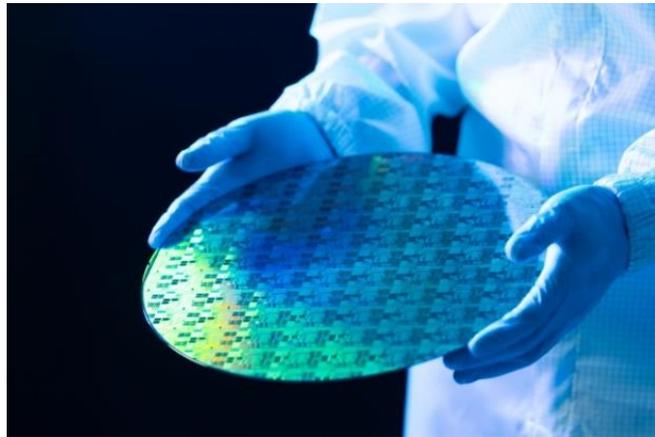
今後もEV普及に向けた一つの鍵であるバッテリー関連の設備投資は継続する見込みであり、当社も拡大分野と位置づけ、開発や受注獲得に注力してまいります。

### 売上高・営業利益・営業利益率



・半導体製造装置メーカー向けにウェーハ搬送装置や検査装置間のハンドリング装置を製造

## 半導体関連の主要製品



### 主力分野

#### ● ウェーハ搬送装置

- シリコンウェーハを各種処理装置に取り込むロードポート、大気・真空環境に対応可能なウェーハ搬送ロボット、およびそれらを統合したEFEM

#### 主なお客さま

国内半導体装置メーカー



搬送  
ロボット

ロード  
ポート

EFEM

### 主力分野

#### ● 検査装置間の搬送装置

- 完成したICチップを検査装置や別のトレイに運搬・移載するハンドリング装置など

#### 主なお客さま

北米デバイスメーカー  
国内検査装置メーカー



ハンドリング装置  
(チップハンドラー)

### 拡大分野

#### ● PLP関連装置 (パネルレベルパッケージ)

- PLP工程等に使用される、パネル基盤搬送用のEFEM・ロードポート・ウェーハ搬送ロボットやパネル製造用の搬送設備

#### 主なお客さま

北米デバイスメーカー  
国内/欧州基盤製造  
メーカー

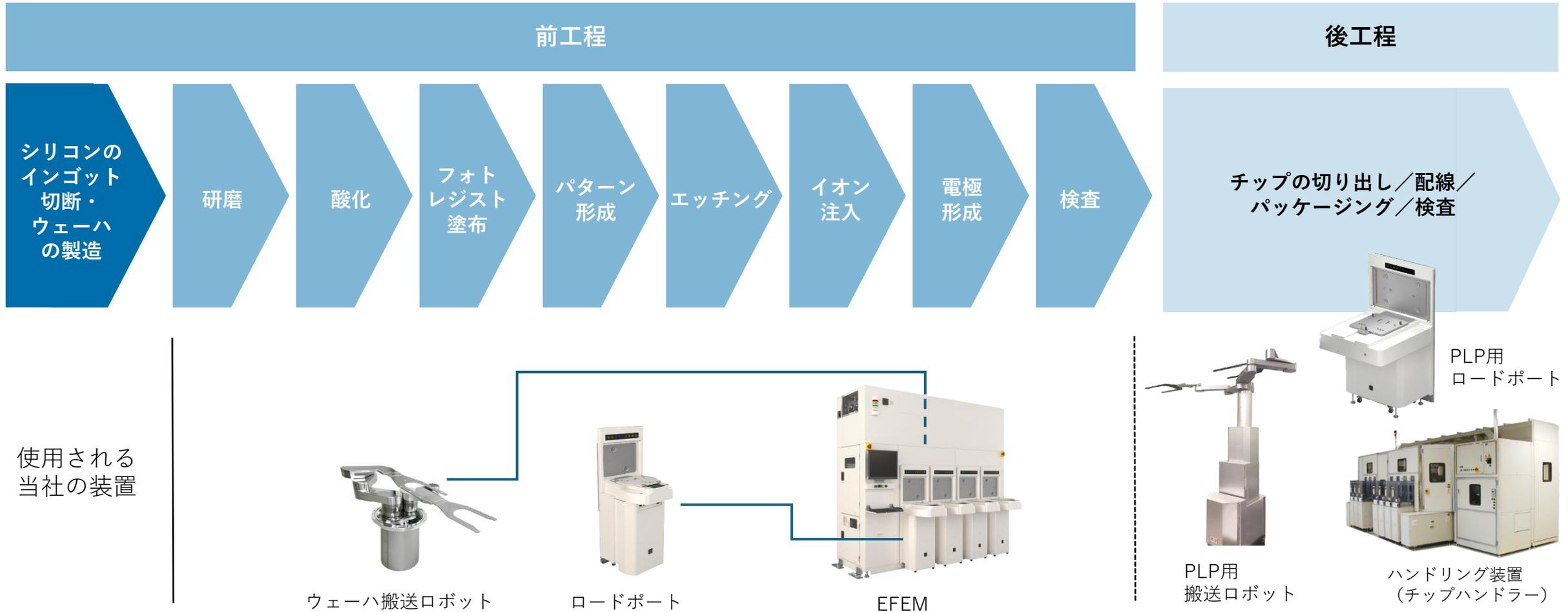


PLP用  
ロードポート

PLP用  
搬送  
ロボット

# 半導体関連事業

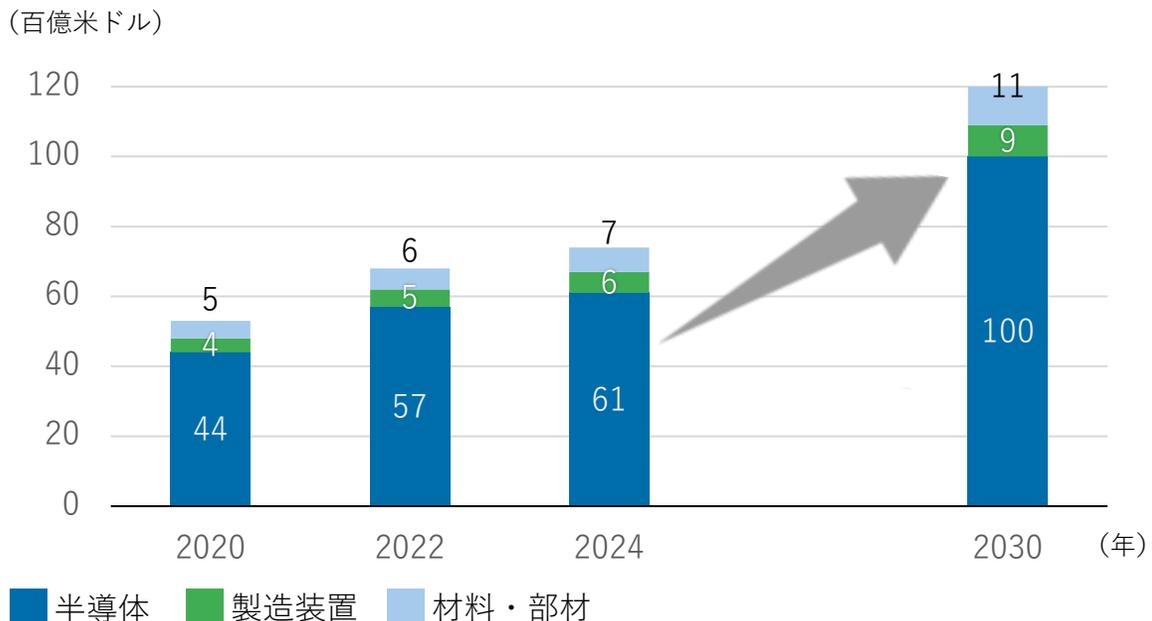
半導体製造工程の前工程、後工程それぞれのプロセスに当社の装置が使われています。



## 事業の状況

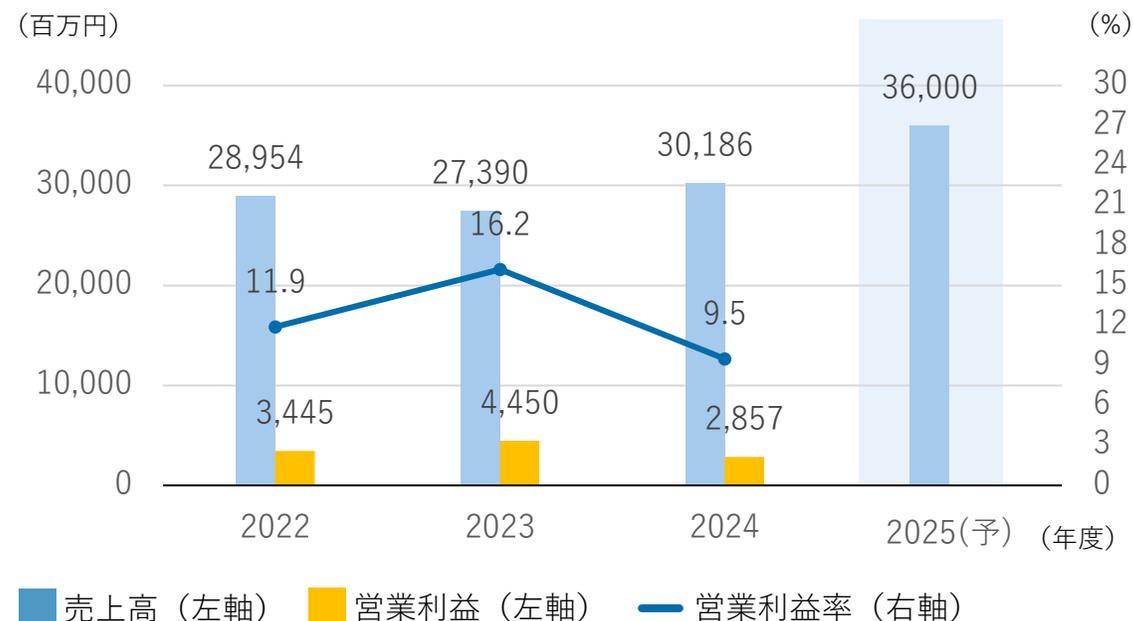
デジタル化の基幹製品ともいえる半導体は年々需要が拡大しています。当社の製品は半導体製造における各プロセスで重要な役割を担っており、今後は需要増に応える生産体制を確立するとともに、半導体業界の技術革新に追従した製品開発を推進してまいります。

### 世界半導体関連市場規模の予測



出所：JEITA、経済産業省など各種データに基づく  
 (半導体、製造装置、材料・部材の構成比は経済産業省「半導体戦略(概略)」2021年6月にに基づき、2030年まで同じ比率で想定)

### 売上高・営業利益・営業利益率



# その他自動省力機器事業

- ・医療・理化学機器や家電メーカー向けの組立設備などさまざまな産業分野に向けた自動省力機器を製造

## その他自動省力機器関連の 主要製品



超音波ガイド下集束超音波治療装置

### 主力分野

## ● 医療・理化学機器

- 検体検査用の装置（病理組織標本作製装置や全自動連続薄切装置）など

### 超音波ガイド下集束超音波治療装置

- すい臓がんを対象にした集束超音波治療装置をソニア・セラピューティクス社（本社：東京都中央区、以下ソニア社）と共同開発中
- ソニア社の集束超音波技術と当社ロボット技術を融合させ、患者にやさしい非侵略的ながん治療を目指す

主なお客さま  
国内医療専門メーカー



### 主力分野

## ● 有機EL用蒸着装置

- 有機ELパネル用の真空蒸着装置の製造を受託

主なお客さま  
国内製造装置メーカー

## ● その他

- 物流関連やFPD関連、家電関連などさまざまな分野に向けた自動化/省力化機器を製造・販売

主なお客さま  
国内外各種メーカー

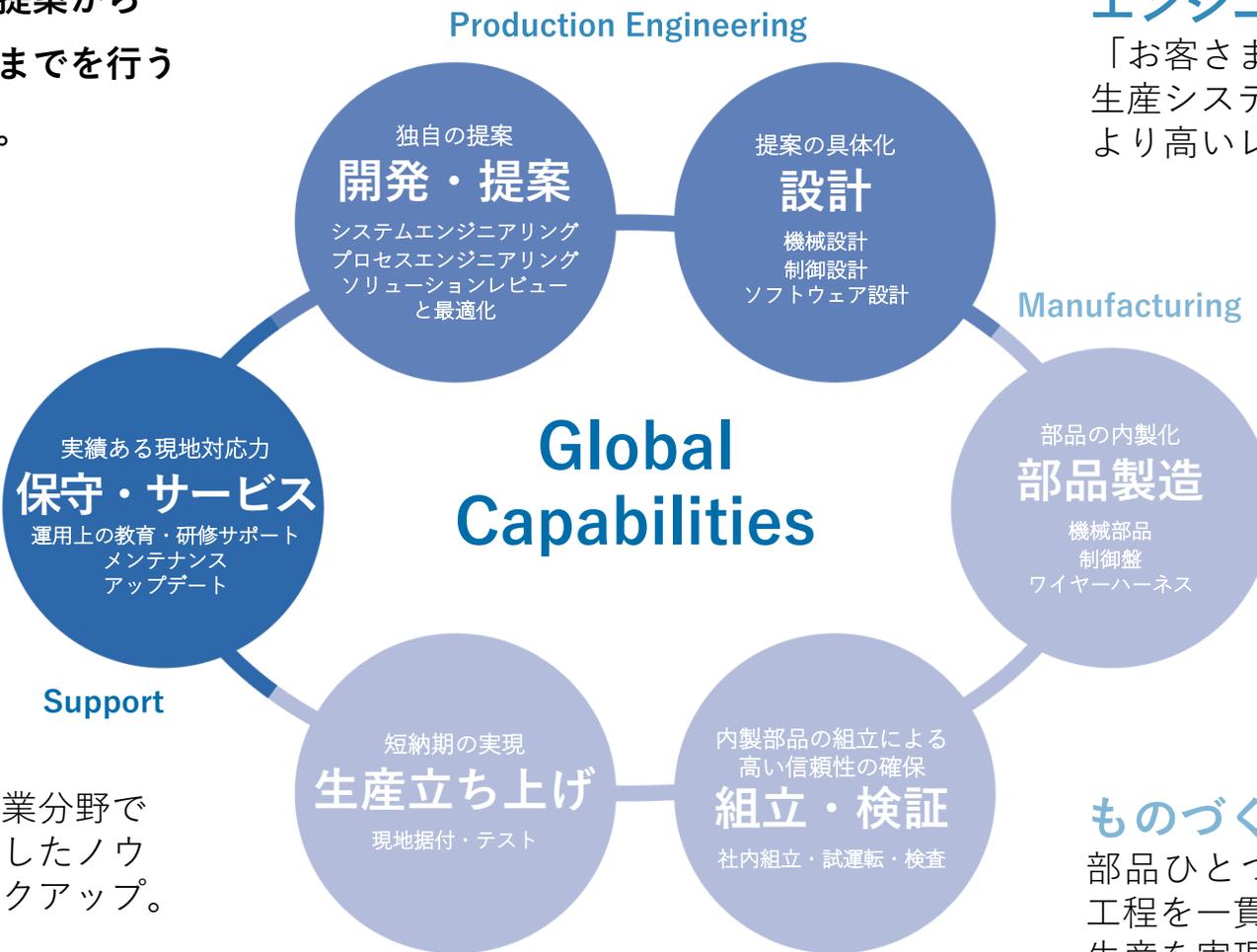
# Hirataの競争優位性

Hirataはお客様の製品の開発・提案から  
生産立ち上げ、保守・サービスまでを行う  
一貫生産体制を確立しています。



## サポート力

グローバルかつ多岐にわたる産業分野で  
培われた経験と現場を知り尽くしたノウ  
ハウで、お客さまを強力にバックアップ。



## エンジニア力

「お客さまありき」の開発思想と  
生産システムを知り尽くしたノウハウで  
より高いレベルのソリューションを提供。



## ものづくり力

部品ひとつから生産立ち上げまで、すべての  
工程を一貫して担い、高次元の品質とスピード  
生産を実現。

# 新中期経営計画（2025 - 2027年度）

2025年度より、新中期経営計画（2025-2027年度）がスタートいたしました。この中期経営計画においては、2028年3月期の定量目標の達成に向けて、設備革新によるお客様と当社の利益の最大化を目指してまいります。

## 「設備革新による利益の最大化」

- ・ お客様の次世代製品に対応した生産設備の提供
- ・ お客様と当社、双方の利益の最大化を目指す
- ・ 自動車セグメントは全方位（EV・HV・内燃等）対応
- ・ 半導体セグメントは製造技術の進化に対応し、生成AI向け需要を確実に取り込む

### 前中期経営計画

2022-2024年度

2025年3月期 実績

売上高	884億
営業利益	68億
営業利益率	7.8%
ROE	7.2%

### 新中期経営計画

2025-2027年度

2028年3月期 目標

ROE	9.3% 以上
営業利益	100億円 以上
売上高CAGR	6~8%

## 5つの戦略の柱

### ① 半導体関連事業における事業規模の拡大

- ✓ 需要増に 대응できる高品質な量産製品の安定供給
- ✓ 既存顧客への当社設備の採用・範囲拡大に向けた営業推進
- ✓ 市場の技術進化に応じた対応領域の拡充

### ② 受注生産ビジネスにおける収益性の強化

- ✓ 案件・地域を選択と集中
- ✓ エンジニアリング中心の業務へのシフト
- ✓ 製品・サービスの高付加価値化

### ③ 収益基盤のさらなる強化

- ✓ 経営・財務基盤の強化
- ✓ コスト構造の最適化

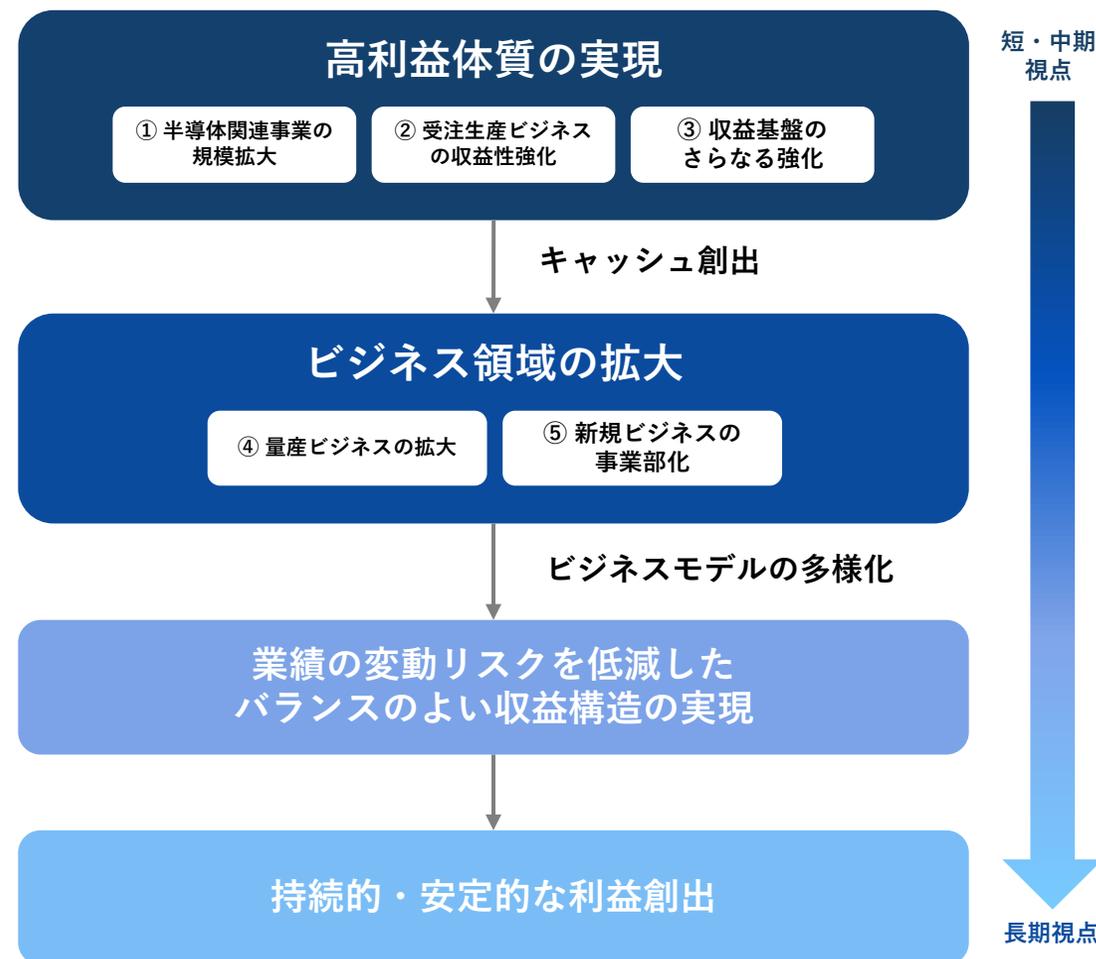
### ④ 量産ビジネスの拡大

- ✓ 製品の標準化推進に向けた体制・プロセスの整備
- ✓ 量産製品の拡充に向けた開発の促進

### ⑤ 新規ビジネスの事業部化

- ✓ バッテリー事業、制御盤事業、電動化部品事業の事業部化（各事業にて50億円以上の売上を目指す）

## 戦略の位置付けと成長の方向性



# サステナビリティ基本方針

## サステナビリティ基本方針

Hirataグループは、当社に関わるすべての人を幸福にし、持続可能な社会の構築に貢献することを目指しています。そのために、私たちは、創業の精神「綱領」に基づく、人間尊重の精神と地球環境に配慮した製品・サービスの提供を通じ、経営の透明性と健全性を確保しながら、事業成長と社会課題解決の両立に取り組みます。



# マテリアリティ

当社では、外部環境が大きく変化する中でも持続的な事業成長と社会課題解決の両立を実現するため、2021年度にマテリアリティ（重要課題）を特定しました。特定したマテリアリティに対しては、2030年目標とKPIを設定して取り組んでいます。

## 気候変動



- ・ 自社およびサプライチェーン上の環境負荷低減
- ・ 製品・サービスによるカーボンニュートラルへの貢献

## 持続可能な社会の構築



- ・ 社会変化に伴う新たな顧客ニーズの創出
- ・ デジタル化の進展への対応

## 人を活かす



- ・ 人材確保・育成
- ・ 多様で安全安心な職場づくり

## 経営基盤の強化



- ・ 製品安全・品質の向上
- ・ サプライチェーンマネジメント
- ・ コーポレート・ガバナンスの強化
- ・ リスクマネジメント

## エコ電動シリーズ

### 人と環境にやさしい、Hirataのオール電動搬送システム

当社は、多様な産業分野での実績をもとに、生産システムのベースとなる「搬送」においてオール電動化を実現することで、エアレスで安全な生産システムを提供し、カーボンニュートラルの実現に貢献します。エコ電動シリーズは、従来品に比べ消費電力を約75%抑え、CO<sub>2</sub>の排出量を削減します。



# TOPICS : 地域貢献活動

Hirataは、プロスポーツへの協賛を通じたスポーツ振興や、熊本県の震災復興支援を目的とした株主優待制度の導入など、さまざまな形での地域貢献に取り組んでいます。



サッカーJ2リーグ「ロアッソ熊本」  
オフィシャルトップパートナー



熊本県内の子ども食堂を支援するため多数の来場者が見込まれるロアッソ熊本のホームゲームで「フードドライブ」を実施



熊本県の震災復興支援および熊本城の修復支援を目的とした株主優待制度を導入



**VOLTERS**

バスケットボール  
B2リーグ  
「熊本ヴォルターズ」  
オフィシャル  
パートナー

バスケットボール  
B1リーグ  
「宇都宮ブレックス」  
オフィシャルスポンサー



滋賀県野洲市内の学校に  
バスケットボールを寄贈



バスケットボール B1リーグ  
「滋賀レイクス」シルバーパートナー

# TOPICS : FLAGNOID清正

勇猛果敢で、知略に優れた名将として名を馳せる加藤清正公は、日本三名城の一つである熊本城の築城をはじめ、土木、治水などの産業インフラの整備、熊本の文化の保護や学問の奨励など数々の功績を残しています。

人や社会に貢献できる製品の普及を通じて利益を上げ、それを熊本の復興・発展に還元したいという願いのもと、Hirataを象徴する製品のひとつであるロボット技術に、人を愛し、郷土の絶え間ない発展を願った清正公に対する感謝と尊敬の念を最大のオマージュとして重ね合わせることで、「FLAGNOID（フラグノイド）清正」は生まれました。現在はHirataの知名度向上や採用活動を目的として、CMを制作し、放映・配信しています。



# 会社情報・株式の状況 (2025年3月31日現在)

## 会社概要

**社名：**平田機工株式会社 (HIRATA Corporation)

**本社：**〒861-0198 熊本県熊本市北区植木町一木111番地

**代表者：**代表取締役社長 平田 雄一郎

**設立：**1951年12月29日

**主要な事業内容：**各種生産システム、産業用ロボットおよび  
物流関連機器などの製造並びに販売

**資本金：**2,633百万円

**従業員：**連結1,995名 単体1,196名 (臨時雇用者を除く)

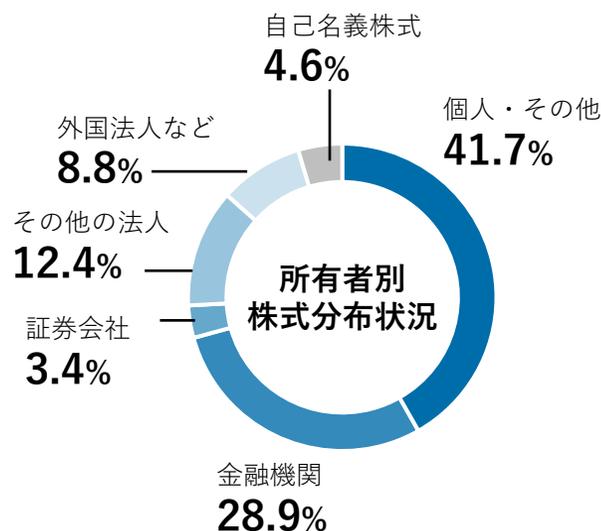
**決算期：**3月31日

**上場証券取引所：**東京証券取引所 プライム市場 (証券コード：6258)

## 株式の状況

### 株式情報

発行可能株式総数	37,000,000株
発行済株式総数	10,756,090株
株主総数	15,445名



## サステナビリティに関する外部評価

当社はESG (環境・社会・ガバナンス) 投資指数である「FTSE Blossom Japan Index」および「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」とグローバル環境株式指数である「S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数」の構成銘柄に選定されました。これらの指標は、年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF) が採用しています。



当社は、ステークホルダーの皆さまに向け、Webサイトや各種報告書などを通じて適時・適切な情報開示を行っています。

## 財務情報

## 非財務情報

### 統合報告書（年1回発行）

#### IR情報

株主・投資家の皆さまに向け、  
情報の適時・適切な開示を行います。

- ・ 招集ご通知・有価証券報告書
- ・ 決算短信・決算説明資料・中期経営計画
- ・ インベスターズガイド など

<https://www.hirata.co.jp/ir/>



#### サステナビリティ

サステナビリティに関する  
より詳細な情報を、  
適時・適切に開示します。

- ・ コーポレート・ガバナンス報告書

<https://www.hirata.co.jp/sustainability/>



#### Webサイト

- ・ 会社案内パンフレット
- ・ 製品情報
- ・ News など <https://www.hirata.co.jp/>

